

平成25年度第4回川崎区区民会議（全体会議）摘録

日 時：平成26年3月11日（火）午後6時30分

場 所：川崎区役所7階会議室

出席者（敬称略）

委員 16名

藍原晃、赤間靖夫、新井一成、新井トキ子、石渡勝朗、岩瀬絹代、
木島千栄、小泉忠之、知念ジョアンナ、寺尾宇一、富田順人、戸村正房、
原千代子、深澤香織、森脇卓郎、吉野智佐雄、
（欠席4名 鈴木真、秦琢二、藤岡玲子、米山実）

参与 2人

浜田昌利、西村くにご

傍聴 0人

（進行：北沢副区長）

1 開会

- 委員の出欠と会議の成立の確認
- 会議の公開、会議録の開示、会議の記録、広報としての写真撮影等の説明
- 配付資料の確認

2 区長あいさつ

- 出席へのお礼。区民会議も第4期の任期が過ぎようとしており、最終報告書の審議が主な議題となる。
- 川崎市は新たな総合計画の策定に向けてこれから準備を進めていく。区民の皆様のご意見を反映していきたい。
- 今年には市制90周年という節目の年、今後とも皆様のご協力をいただきたい。

（進行：寺尾委員長）

3 議題

（1）最終報告書（案）について

最終報告書（案）の内容について、全体の構成・概要を新井副委員長、提案部分を藍原部会長、石渡部会長がそれぞれ説明し、意見交換した。主な意見・コメントは以下のとおり。

小泉委員 コミュニティバスの導入について今期で検討を取りやめるというこ

とだが、小田地域に住んでいる私にとっては、大師地域へのアクセスが欲しいという気持ちがある。個人的には非常に残念だ。

藍原部会長 アンケート調査の結果、あまり乗る人がいないという結果だった。もう少し利用意向が出てくるかと思っていた。この結果では、バス導入・運行にコストが出ていくばかりである。2期4年間検討してきたが、区切りをつける必要がある。

寺尾委員長 現時点では、これ以上検討を続ける意味はあまりないと考えた。

新井(一)委員 大師地域の子育て関係団体の情報交換会を私も傍聴したが、参加団体のみなさんが前向きで、大変有意義な会だった。他の地域にも広がるよう、仕掛けていければと考えている。

石渡部会長 活動団体主体で進めていく必要がある。田島地区や中央地区でも実現させ、ゆくゆくは区全体で情報交換していく方向性も考えられる。

寺尾委員長 子ども会なら子ども会同士の関係はあっても、他の団体とのつながりがなかなかないということだった。短時間の間に様々な意見が出て、感心した。続けていくことが重要だ。リーダーシップを誰がとっていくのか、地域で見出していく必要がある。

(2) 第4期川崎区区民会議の活動を振り返って

2年間の活動を振り返っての感想、区民会議の今後の課題・展望などについて、当日出席した全委員、参与からコメントをいただいた。また、その後、報告書案の内容について、全会拍手で承認した。

藍原部会長 自主防災に町内会で10年以上取り組んできたが、地域ではまだまだ備蓄物資が足りない現状がある。備蓄庫が学校の4階に設置されている例もあり、建物に被害があったときは取り出せるかどうか不安だ。防災については、5期以降でもぜひ検討していただきたい。

赤間委員 2年間の任期は長いようで短かった。コミュニティバスの件は私も残念な気持ちだ。これからも区民のためにできることをする努力を続けたい。

新井(一)委員 ちょうど3年前に大震災があり、防災への関心が高まった。区民会議で海拔表示板を提案したあと、すぐに実現した。以前は区民会議が何をやっているかよくわからなかったが、実績につながる力がある会議だと今は実感している。今後も住みやすい川崎区の実現に努力していきたい。

石渡部会長 それぞれの部会で意見交換し、切磋琢磨した結果、有意義な提案ができたと考えている。一人一人では気が付かない視点が氣勢で話し合うことによって出てくる。区民会議の認知度を向上させる取組が必要だ。

外国人市民に関わる課題が両部会で出てきたので、もっとうまく連携して
検討ができれば、良かった。コミュニティバスの件は、検討打ち切りが妥当だ
と思うが、やはり残念な気持ちがある。ルートの見直しなど行えばニーズが増
える可能性もあると感じている。臨港バスの方の話では「やはり採算性が見込
めないと実現には踏み切れない」ということだった。

岩瀬委員 臨海部の見学、コミュニティバス試乗などの試みが良かった。
コミュニティバスは同乗した知り合いも良かったと言っていたので、
アンケート結果は残念だ。子育て関連団体の情報交換会は、子ども文化センタ
ーで開催したことが良かった。子ども文化センターは夜も開館しており、地域
の中高生の居場所になっている。所長も参加してくださった。まず大師地域
が一体となって、区全体に広がっていけばよいと思う。いろいろな方の話
も伺えて大変勉強になった。

木島委員 川崎区は市街化が進んだ地域で緑が少ない。区民会議の提案から
制定された区の花、区の木をのぼり旗や区発行資料など様々な場で見かける
ようになり、良かった。東日本大震災以降、市民の防災意識が高まっており、
臨海部の防災に対する不安もある。今回防災などをテーマとして取り上げたこ
とは良かったのではないか。

小泉委員 世代間交流を主眼にいろいろ意見や提案をさせていただいた。第3期
は音楽や子育てサロンの場を活用した提案を行い、多くの方に喜んでいただ
けたが、今季の囲碁・将棋を活用した提案については思うように人が集まらな
かった。委員それぞれ関心のある分野から提案し、進めていければと思う。

知念委員 昨年5月に討議の途中から参加した。あまり区民会議のことを知らず
に入ったが、とてもよい勉強になった。私は外国人だが、川崎に長く住んで
おり、外国人市民の代表なども務めているので、もっと勉強して、外国人市民
の情報や声を伝える役割を果たしていきたい。やっとな慣れてきたところなの
で、第5期も引き続き活動していきたい。

富田委員 緑のカーテンに始まり、区民会議はこれまで様々な活動を活発に行
ってきたと思う。区の花、区の木の設定なども良かった。歩道と車道の区別、
車椅子の方も安心して通れる道の実現を言い続けており、改善されてきてはい
るが、まだまだだ。また、区役所前の街路樹のケヤキが、ワイヤーが食い込ん
でいるような惨めな姿がずっと続いており、気になっている。声のない自然や
道路などにもっと気を配っていく必要がある。

戸村委員 コミュニティバスの提案に関わった私も、残念な気持ちでいっぱい
だ。もう少し時間があれば、違ったやり方もできたのではないかと感じている。

臨海部の産業立地なども考えれば、川崎区の交通網は、再整備の必要性が
ずれでてくると感じている。これからの区民会議の課題は区民の声をいかに吸
い上げるかだと思ふ。たくさんの声があがれば、それだけ充実した取組がで
きる。小さな場での繰り返しを積み上げていくような努力が必要だ。時間の使
い方がもう少し工夫できなかつたかを感じている。初めて参加したが、各方面
で活躍されている他の委員さんの活動などを知り、大変勉強になった。

原委員 今回初めて参加した。様々な地域団体、様々な立場の方々と、いろい
ろな視点から一つの問題を話し合うことが非常に勉強になった。ふれあい館に
勤務し、外国人市民が住みやすい地域をテーマに長年活動を続けてきている。
私が学生で活動を始めた頃、外国人市民は桜本地域などに集住していたが、
最近は国籍や地域も多様化し、区内全域に広がっている。これらの人たちをど
うやって支援していくかが新たな課題だと改めて感じた。災害時の地域の助
け合いについては、外国人側ばかりでなく、共にいきる日本人側の問題でもあ
ることが指摘され、これからも重要な視点であると思った。ただ、区民会議
交流会に参加して、外国人問題を積極的に取り上げているのは川崎区だけだ
ったのは残念だった。区民会議フォーラムでは、日頃外国人に関わっている方
々と踏み込んだ討論ができたが、民生委員や保護者と外国人市民をどうやって
つないでいくか、ネットワークの問題だと感じた。提案をすべて予算化してい
くことは難しいかもしれないが、外国人の防災ネットワークなどは予算がな
くてもできる部分があると感じている。

深澤委員 子どもの活動にボランティアで取り組んできたが、防災、外国人、
町会など、これまであまり考えことのなかつた問題を考えさせられるき
っかけをいただいた。大型マンションも増えている川崎区では、これから転入
してくる区民、子どもが増えてくるだろう。地域で子どもを見守って、交流し、
身体的にも精神的にも子どもが元気に成長できる川崎区であってほしい。
区民会議がそのきっかけづくりをできればと考えている。

森脇委員 昨年5月から参加し、最初は何をすればいいのか戸惑っていたが、い
ろいろな課題を勉強させていただく中で、地域で人と人の関係性をどうやっ
てつくっていくかという点に様々な課題がゆきつくのではないかと感じた。
老人クラブに関わっているが、やはり人と人とのつながりづくりが課題だ。
今期の提案は、まだ漠然としている部分も残り、少し反省している。区民会議
交流会では他区の委員から、「区民から意見をもっといただきたい」「区民会議
の認知度が低い」などの意見を聞いて、もっと委員自身、私も努力をしてい
かなければならないと感じた。

よしのいいん す こしょうかふりょう しょうじき かんそう わたし れきしが い ど
吉野委員 少し消化不良というの、正直な感想だ。私はかわさき歴史ガイド
の会で活動しているが、高齢者と話す機会が多い、
い。川崎区は南北に横断できるバス路線がない。また高齢者からは、国道をわた
る青信号が短くて非常に怖いという声をよく聞いた。コミュニティバスの
アンケート調査結果は思ったようにニーズがでなかった。数年後に再調査すれば、
また違った結果が出るかもしれない。一般道路などで歩道のバリアフリー化が進
んだことにより、自転車の暴走が増えてしまっている例もありそうだ。高齢者が
高齢者が考えている。

とよもとくちょう こみゆにていぼす ざんねん きび あんけーとけっか
豊本区長 コミュニティバスは残念ながら厳しいアンケート結果だったが、2
期にわたっていただいた意見を基に区として議論を続けていく責任があると
考えている。採算性などの面から即実現というわけにはいかないが、既存路線
の変更や延長なども視野にいれながら、検討、民間事業者との協議等をして
いきたい。区民会議交流会で他区の方に意見を伺うと、「平坦な川崎区には
必要ない」というご意見が多かったが、詳しく説明すれば、ご理解いただける
部分もあった。市の26年度予算では、コミュニティバス導入について、従来
の初期投資に関する補助支援に加えて、車両の買い替えや赤字の補助などの
支援の新たな取組も始まっている。川崎区も状況を見据えながら、折を見て
新たな提案ができればと考えている。

ふくだしちょう い えが おん じつげん せだい
福田市長の言われる「こどもの笑顔があふれるまち」の実現のためには世代
交流が重要だと考えている。高齢者の経験や知恵を伝えていくために、
地域の団体との意見交換を進めていきたい。田島地区で交通安全の絵の
コンクールを毎年行ってきたが、来年度は区全体で行う計画がある。

がいこくじん ひごろ こうりゅう ひじょう たいせつ なんねんも す かつ
外国人との日頃からの交流も非常に大切である。何年もお住まいの方もい
れば、IT分野等の仕事での短期間滞在など、居住や滞在の形態も多様化し
ている。今年6月には国際交流協会の主催で、宮前小学校でインド祭り
を開催する予定である。文化交流をより深めていく構想もあり、多くの方々に
参加していただければと期待している。

にしむらさんよ なが とらぎ かんしゃ ぜんかい よぼうせつしゅ
西村参与 長きにわたる討議、まとめて感謝いたします。前回は予防接種につい
て、真剣に議論していただきました。あその後、大師地区で樋口恵子先生を招い
てフォーラムを開催しましたが、区民の提案が運動になっていることに驚か
れていました。皆様の力添えもいただきながら、私も県にアピールを続けて
おり、風疹撲滅に向けた取組が進められています。予防接種は個人だけでな
く、社会全体の健康を守るという側面があります。アメリカの疾病対策
センターでは、妊娠をされている方は日本に行かない方がよいという「レベル

2」の警告を未だ出している状況です。風疹は6～7年周期で大流行していますが、それで考えますと次にはやるのは東京オリンピック前後になる。区の問題だけでなく、日本全体にもつながるような課題に取り組んでいただいていると思います。

浜田参与 議会の予算審議会と日程が重なってしまった中、多くの参与さんが参加できない状況になっており、申し訳なく思います。私も今期は欠席が多くなってしまったが、みなさん本当に真剣に議論されていて、実現されたものもあり、感銘を受けております。

寺尾委員長 インド祭は、インドの方々が自ら熱心に、自分たちのお祭り「ラタジャトラ」を地域でやって日本人に伝えたいということで始まりました。一昨年は幸町小学校、昨年は川崎小学校、今年は宮前小学校で6月29日に開催する予定です。インド伝統の山車の巡業も付近の公道で行いたいということで、現在警察署等とも調整を図っています。

国際交流協会では、2月21日に毎年恒例の外国人市民の防災訓練を実施しましたが、今年はNHKが取材に来て、震災前から訓練に参加されていた外国人市民へのインタビューなどがすぐに放送されました。継続の力を感じたところで

す。今年、川崎市制90周年、ミュージアムかわさき10周年など記念行事が多い年です。川崎大師では10年に一度の大開帳もあります。昔は開帳に合わせて赤札配られる際にラッパが鳴らされた時代もあったようですが、今はインターネットですぐにそのあたりの情報も得られるようです。時代に合わせて、区全体で盛り上げていきたいと思っております。

新井(ト)副委員長 区民会議の事は以前から耳にしていたのですが、自分が参加することになるとは思っていませんでした。お役に立てればと引き受けましたところ、副委員長の大役まで仰せつかり、不安もあったのですが、委員長ほか皆さんに支えられました良いご意見をたくさんいただき、新鮮な思いで参加し、学ぶことができました。

交通安全母の会では、近年、自転車の交通安全や運転マナーが大変問題になっています。法律もどんどん変わってきており、会長の私もなかなか把握しきれないほどです。これをどうやってみなさんにお伝えしていけるかが課題です。自転車は大人ばかりでなく、学生も、子どもも、みなさん地域で乗っています。

まちの姿、子ども達を守りたいという思いが強いのですが、課題は幅広く、まだまだ区民会議で討議できていない課題がたくさんあります。何もかも一度に取り上げるわけにはいきませんが、一つ一つでも解決してければと考えています。

きたざわふくくちよう ねっしん ぎろん
北沢副区長 熱心なご議論、ありがとうございます。今後の事業のヒントもたく
さんありました。

4 閉会

とよもとくちよう ねんかん
豊本区長 2年間ありがとうございます。このメンバーでは最後の会議というこ
とになりますが、ぜひ今後も委員としての活動や地域での活動を続けていただけ
ればと かんが 考えています。

せんげつ くみんくるまざしゅうかい かわさきく おこな そうてい さんかしゃ すく
先月、区民車座集会在川崎区で行われました。想定よりも参加者が少なかつ
たのですが、区民の意見を区政、市政に反映していくことが重要だと常々感じ
ています。区民会議の提案も言いつ放しになるのではなく、実現に、市民との
きょうどう どりよく
協働で努力してまいります。

■ 閉会宣言

ごご じ ふんへいかい
午後8時00分閉会

いじょう
(以上)